

どの保育現場でも
手軽に音楽活動ができるように

成果発表会

チームCの保育×音楽

活動メンバー

横浜保育福祉専門学校

- ・ 遠山 真美子 先生
- ・ 後藤 愛美 (3年)
- ・ 高橋 里奈 (3年)
- ・ 庄司 稀依 (3年)


岩崎学園情報科学専門学校

- ・ 武藤 幸一 先生
- ・ 森 優希 (2年)


横浜薬科大学

- ・ 伊東 岳志 (5年)

流れ

 中間発表を終え

 てあそぼーるの機能

 内部構造

 ヴィラ東戸塚保育園実践

 現場での声

 考察

 展望

中間発表のおさらい

保育現場での問題点



音楽活動ができる



音楽活動ができない

中間発表のおさらい

保育所保育指針

リズムやそれに合わせた
体の動きを楽しむ



引用:厚生労働省

音楽が及ぼす影響

運動能力の発達

聴く力の発達

リズム感（音楽）

中間発表を終えて

意見

子どもたちの「楽しい」
気持ちの尊重も必要である
が、成長につながる要素が
あると良いのではないか

良い点

安全面の配慮ができてお
り、実践を通して得られ
るものは何か興味を持っ
ていただくことができた

今後について

成長記録を取り入れられ
るか検討する。外面、機
能の明確化させる。

振り返り、決定した あそぼーるの概要

成長記録の取り入れ

→ 個人情報の記録を取り扱うには、データー紛失等の危険性が見えたため取りやめに。

ワンパターンにならないあそぼーるの使い方

→ 音の種類は変えられても1つの音が出る設計にしていたので、音の追加を行い、飽きずに遊べるように！



触る場所によって 異なる音

ボールの表面は4つに分かれており、それぞれから聞こえる音が異なる。



音楽遊びも それ以外も

音に触れられる機会を増やすことが目的にありますが、音楽遊びにとらわれない遊びも行うことができる。



音の変化で広がる 遊びの可能性

連動させているアプリからの変更で様々な音を感じることができ、場面に応じた遊びができるように。



安全面に配慮した 柔らかい素材

子どもの手に触れやすい素材で作成しており、安全に遊ぶことができます。濡れや汚れを心配せずに使用できます。

内部構造



ヴィラ東戸塚こども園での実践

PM



15:35 ● 爆弾ゲーム（通常ボール）

15:40 ● あそぼーる説明

15:45 ● 爆弾ゲーム（あそぼーる）

16:05 ● 振り返り、アンケート

子どもたちの姿



子どもたちの声



保育者の声

回答者4名

あそぼーるの印象

音について

音がどこから鳴るのか
あそぼーるの仕組みについ
て

子ども目線

子どもにとって興味が沸く
楽しそうに活動ができる

子どもにどのような影響があるか

- 記憶力
- 人間関係の育ち
- ルール性が学べる
- 音の仕掛け、運動遊び、記憶力
→身体の様々な部分に刺激がある

保育現場において 現あそぼーる以外の機能

光（点滅）
カメラ機能
感触があるもの

感想・改善

感想

プチハプニングも楽しむことができる
あそぼーるの機能の理解ができ、楽しめた
子どもの目線に立って意見を聞いているのが良い

改善点

遊びの内容の工夫

(遊びを楽しむ、音を楽しむ姿が見られた為)

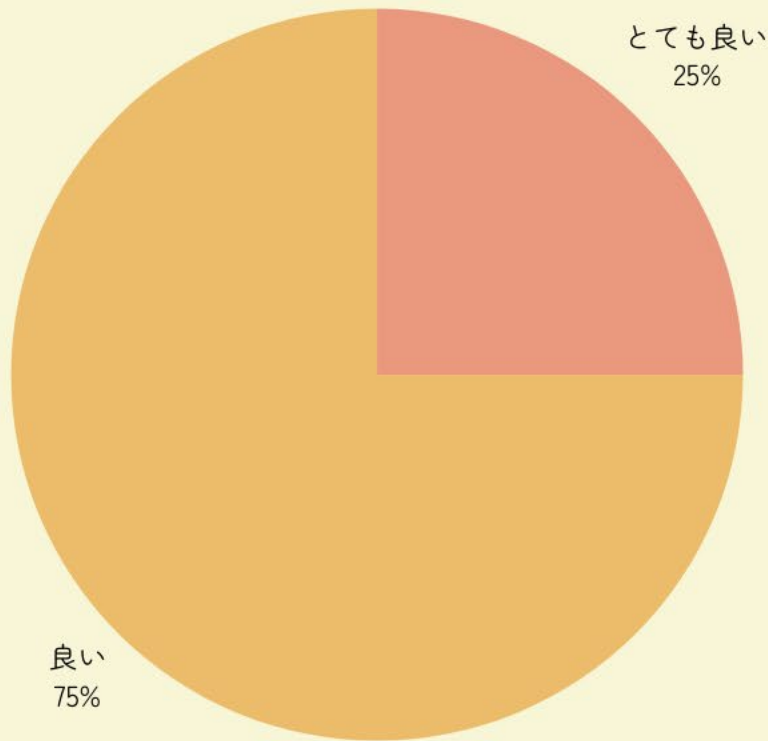
音の鳴るタイミングを考える

アンケート結果

01

あそぼーるの実用性
(使いやすさについて)

良い
75%



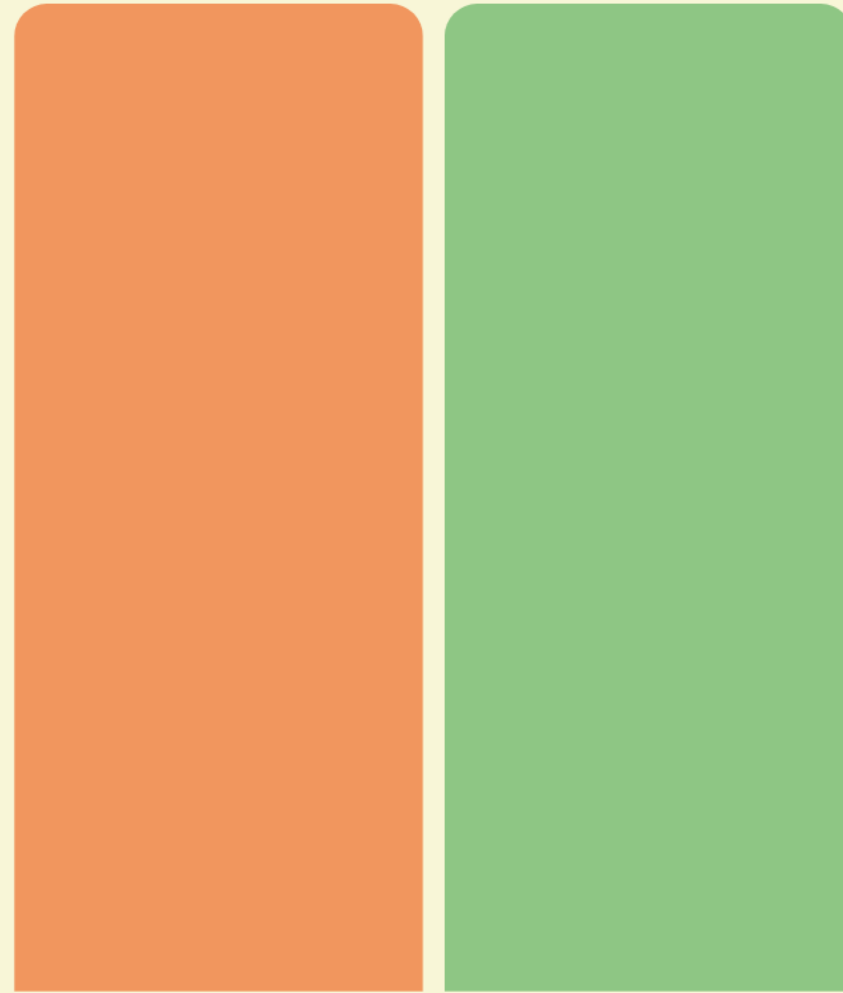
とても良い25%
良い25%

アンケート結果

02

安全面について

■ 安心できる ■ やや安心できる



安心できる50%

やや安心できる50%

考察

大きな音が苦手な子に対しての工夫(光る等)
が付いてるともっと可能性が広がりそう

少し重さがあるため怪我がないような配慮や
どの年齢であっても触れやすいものであるといい

音が鳴る、押し込んだ時の感覚を楽しむ姿

展望

将来的に、手軽にスマホアプリで実用！

（WiFi環境なしでも実装可能に）

低コストで供給しやすい価格にする

THANK YOU!

あそぼーる

